

- ① JTR会長「内山優」は語った / 減税男 ② 1年間の歩み [拡大を続けるJTRのネットワーク]  
③ 水曜会と国会勉強会報告 ④ サインナー紹介 / NEW FACE  
⑤ リーダーシップ研究所 / 自由経済研究所 ⑥ 納税者の日と政府支出を考える日 / LATEST NEWS

JTR日本税制改革協議会会長「内山優」は語った。

## 2006年「納税者の日」は 昨年よりさらに6日伸び5月18日となった。



### JTR会長 内山 優

JTR日本税制改革協議会は「税金はシンプルで公平かつ判りやすく、均一に安い必要がある。税金は個人の自由を制限し、健全な市場経済を阻害し、家庭や地域社会に内在する自由で効率的な機能の可能性に水を差すものである」という信念を持ち、いかなる増税にも反対をしています。「税金という力に基づく政府権力」の基を絶つ手法により、肥大化した国家システムの改革を目指しています。

JTR日本税制改革協議会会長内山優は語っています。

「消費税を含む増税は全く必要のないものである。すでに国民は十分な税金を支払っているのである。家計に占める税金の割合が食費や住宅費を上回る事を、あなたは知っているだろうか?日本の平均的な家庭において収入の38%(昨年比2%増)が税金である。家庭や中小企業ではムダな支出をしている余裕はない。いつも出費を根本から見直し総支出を減らす努力をするのである。政府はどうであろうか。政府の無駄遣いに関する報道を腹立たしく思っていることと思う。霞ヶ関を筆頭に役所は組織の肥大化のために増税が必要であるという結論が出てくる。自らを小さくするという選択は皆無である。

政治の決断が必要である。選挙においてあなたの投票する候補者があなたの味方なのか、それとも「彼ら」の味方なのかをはっきりさせる必要がここにあるのである。増税を目論む政治家は納税者による厳しい審判を受けることになるだろう。」

JTR日本税制改革協議会は議員並びにその候補者に「いかなる増税にも反対する」と書かれた納税者保護誓約書に立会証人をつけ署名するとことと共に、増税反対を自分の政策の中心に据え、立場を明確にするよう求めています。今後、納税者保護誓約書が選挙に欠かせぬツールとなり、納税者から信を得た議員としてのステータスになる日が来るよう日本各地においてキャンペーンを繰り広げています。



## JTRはいかなる 増税にも 反対しています。

ブログ「今日の減税男」は毎日更新しています。

キーワード「減税」による検索はYahooで1,090,000件中の第5位!

Googleで1,410,000件中の57位という驚異的なランクに位置されています。

### ◎ なぜ、いかなる増税にも反対するのでしょうか?

そもそも法という概念は、権力者の圧政から人民の自由を守るためにつくられたものです。**税金が私達の自由を奪う最も大きな規制**であり、税をコントロールする立場にある政府が不当に私達の自由を奪うことは許されるべきではありません。よって私達の自由を奪う政府の力は最小限のものとするべきです。**故に税は簡単でわかりやすく安くなければなりません。**

「小さな政府」を唱える理由はここにあります。

### ◎ なぜ納税者保護誓約書の取得が必要なのでしょうか?

民主主義国家において政府の規模や財政の規模を決めるのは国民であり、その意思は国会議員によって反映されます。

官僚組織は日本最大のシンクタンクであり、法案成立に向けてのロビー活動やマスコミ操作にも長けています。「彼ら」は保身と権益の拡大にむけて日夜、政府を大きくするために国会議員を説得して廻っているのです。

国会議員は有権者の前で、触れられたくない話題に対してニュートラルであることは既にご承知のことでしょう。

放置しておくことと永田町という隔離された村社会に出勤し、有能な官僚たちの細やかな配慮によって「増税が必要である」という答えを出してしまいます。

しかし、本当に納税者は増税を望んでいるのでしょうか?

もし、あなたが政府の増税政策や規律のない歳出に異論を唱えるのであれば「彼ら」と同じように日夜、影響を与え続ける必要があるのです。

JTR日本税制改革協議会の必要がここにあるのです。

納税者保護誓約書に署名し、納税者との約束を守る議員が増えることによって増税は阻止できることとなります。

JTRは1997年の設立以来、一貫して政府機関や政党からの援助を受けず、納税者保護誓約書の取得を進めています。

# 納税者の日と政府支出を考える日

2006年の納税者の日は5月18日です。日本税制改革協議会 納税者の日策定委員長 博士(政策研究) 公認会計士 吉田 寛

## 納税者の日

政府は税金により運営されます。納税者の日は元旦から数えて平均的な日本人が納税のために働かなければならない日をいいます。

## 税の定義

JTR(日本税制改革協議会)では税を次のように定義します。政府によって支払が強制されるもの。この様なものには法律によって定められた税金の他に社会保険料などがあります。

## 2006年の納税者の日

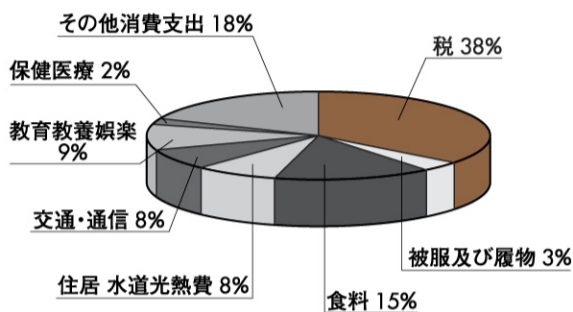
2006年の納税者の日は、5月18日になりました。平均的な日本人はこの日まで税金を納めるために働きます。その後ようやく自分自身と家族のために稼ぐことになります。

## 納めた税金だけでは足りない

現在の日本政府は、集めた税金だけでは、政府支出をまかなうことができません。税金だけでは不足するので、

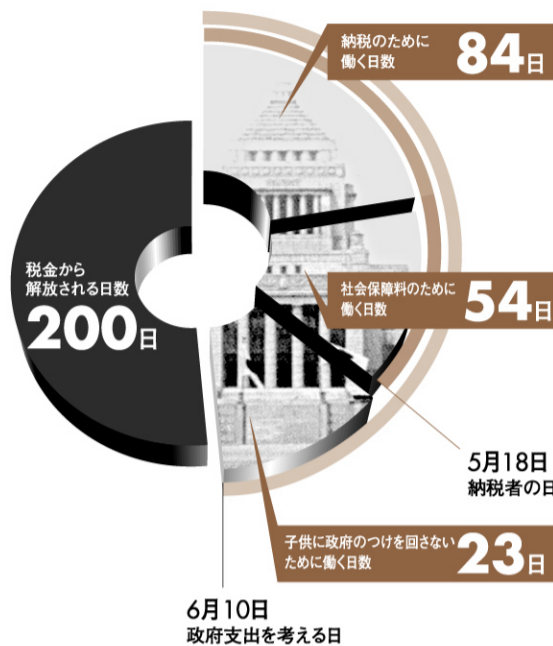
国債を発行したり借入れをしています。この金額が、「その税を払ってもよい」という意思表示をする機会のない子ども達にまわしたツケになります。日本政府は昭和40年以来絶えることなく子どもにツケをまわしてきました。子どもにツケをまわさないように税金を払うとなると今年6月10日まで政府のために働かなければなりません。この日を「政府支出を考える日」といいます。

## ●こんなに払っている税金



総務省統計局の平成11年全国消費実態調査の家計収支結果表から合成した。家計収支結果発表は下記のホームページにある。  
http://www.stat.go.jp/data/zensho/1999/submenu1.htm

## ●納税者の日と政府支出を考える日



# LATEST NEWS

## 世界納税者連盟会長 ビヨン・タラス・ワーバーク氏来日の軌跡

世界納税者連盟は非営利組織であり1988年に設立されました。その目的は個人の自由と安い税金を実現することであり、世界6大陸の40ヶ国、50団体が加盟しています。JTR日本税制改革協議会は2005年10月に北京で開催されたアジア太平洋納税者連盟の創立総会に出席し、その趣旨が一致していることを相互に確認しました。ビヨン氏は精力的に東ヨーロッパや中央アジアのフラットタックス導入を推進されてきた牽引車的役割を担ってきた人物です。5/17日の水曜会においては低い税負担が経済を成長させ消費を促し、結果的に税収の増加をもたらしたロシア共和国の例をはじめとして、所得税の均一化ではキルギスタンの10%、ウクライナ13%、イラク15%、ルーマニア16%、香港16%などの経緯と背景を説明していただきました。自民党税制調査会や民主党税制調査会では抜本的税制改革に向けて議論が盛んに行われているということですが、その内容は国民には伝わっていないのが現状です。



JTR東京会議にて  
世界では税の低減化競争が始まっているのだという強いメッセージが！日本はどういった将来の不安が待っているのでしょうか？

そこでJTR日本税制改革協議会主催の「税制公開討論会」を5/17日に日本青年会議所会館にて開催いたしました。ビヨン氏には民主党税制調査会会長・古川元久衆議院議員、社民党党首・福島みずほ参議院議員、共産党財務金融部会長・佐々木憲昭衆議院議員とともにパネリストとして参加していただきました。この討論会開催に向けて各党にお呼びかけいただきましたが、残念なことに自由民主党・公明党・国民新党は多忙ということで参加していただけませんでした。5/21日(日)は「JTR東京会議」を外国人特派員協会、いわゆる外国人記者クラブにて開催いたしました。JTR会員をはじめとして多数の参加者のもとビヨン氏には忌憚のないフランクなお話しをしていただきました。会場には大学生も多数参加して下さいました。「政府公報やマスコミから流される情報に惑わされることのないように疑ってかかります。」という声にはビヨン氏も喜んでいました。



JTR東京会議にて  
私の母国スウェーデンを日本ではユートピアと勘違いしています！手厚い社会保障給付を高額な税負担で賄う社会は本当に楽園なのでしょう？



税制公開討論会に国会議員とともに参加。日本の増税路線に警鐘！  
世界納税者連盟ビヨン会長、民主党税制調査会会長・古川元久衆議院議員、社民党党首・福島みずほ参議院議員、共産党財務金融部会長・佐々木憲昭衆議院議員。

## JTRにご賛同ご入会ください。

### 目的

本会は国民主権の理念に基づき、真に国民の為の税制改革を進めるに必要な政治活動を行う事を目的とする。

### 事業

本会は自助の精神に基づき、いかなる増税にも具体的な戦術を持って反対し続け、且つ私たちの支払った税金の適切な用途を監視し、さらには適切な減税を押し進め、無謀に肥大化し続ける政府から国民の財産を守るための事業を行う。

### 会員

会員は本会が主催するすべての活動に参画及び参加資格を有する。本会会員は会の趣旨に賛同する者で、以下のいずれかの会費を納入したことをもって会員とする。

正会員	
年会費	12,000円
購読会員	
年会費	3,000円
賛助会員(スポンサー会員)	
年 額	12,000円を越える金額を納入した者

●郵便振替は下記宛にお願いいたします。  
(口座番号) (加入者名)  
00560-2-6106 日本税制改革協議会

## JTR 日本税制改革協議会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-15 第2中田ビル7階  
【TEL】03-5545-7280(代)【FAX】03-5545-0931  
【E-MAIL】info@jtr.gr.jp  
【URL】http://www.jtr.gr.jp

皆様からのご意見・ご協力をお待ちしております。

# リーダーシップ研究所

## リーダーシップ研究所はスタートしました (Leadership Institute Japan)

代表 田中 甲

Leadership Instituteは1979年にアメリカにおいて一貫した自由主義の思想の基で政策実現と実践するための教育機関としてモートン・ブラックウェル氏の指導によって立ち上げられました。

その広がりにはアメリカだけではなくフランス・イタリア・アルゼンチン・チリ・韓国・ウガンダ等世界中に及んでいます。

日本では、2005年7月に5人の有志によってその精神が持ち帰られ、本年はインターンの派遣も行いました。

その精神とは、

- ・官僚支配による大きな政府ではなく小さな政府を目指す。
- ・自由経済の活力を阻害する規制を撤廃し、税の負担を削減する。
- ・教育現場の間違った平等に対する概念を改め、正しい平等の姿を教える。

又、政治家を目指す人に対しては、

正しいものが勝つとは限らない世界だからこそ、政策実現のための法則を学び、有権者に代わって自分が何を行うために議員になるのかをはっきりと自覚させる。

というものです。

日本では、すでにJTR(日本税制改革協議会)や、IFE(自

由経済研究所)と協力する中でレッスンが始まっていますが、7月7日にモートン・ブラックウェル校長を迎え正式に開校式を行う予定です。(http://www.lij.st)



リーダーシップ研究所 代表 田中 甲



千葉縣市川市の教室にて受講生と



「政策実現のための法則」は卒業証書

## JTRからの メッセージ

アメリカにおいてはシンクタンクと政治的な活動を行う組織がとてユニークな体系を創り上げ「多様な民衆の声」を政府の政策に反映させています。

JTRと哲学を共有する「リーダーシップ研究所」並びに「自由経済研究所」の設立を心から頼もしく心強く感じます。共に戦える日が来ることを楽しみにしています。

# 自由経済研究所

## 自由経済研究所を設立しました (Institute for Free Economy)

代表 吉田寛 博士(政策研究)

市場での取引は、自分とは異なる取引相手の才能や技術の評価し尊重することから始まります。多種多様な能力と技術を持つ人が市場に参加し、それを評価できる人々が会おうことで、市場は活性化し社会は豊になります。

これに対して政府は、強制力を行使することが仕事です。市場を規制する政府の介入は最小限にとどめるべきです。

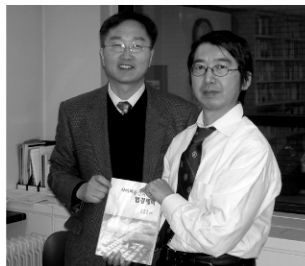
自由経済研究所は、自由と経済の有用性を確認・共有し、次の事項を実現するための政策立案とその実現のための活動を行う政府の資金に依存しない研究機関です。

1. 自由市場の実現  
市場は取引に参加する者の能力と個性を尊重する。
2. 小さな政府の実現  
自由経済は小さな政府を求める。
3. しっかりした外交と防衛の実現  
国民は、外国からの侵略の脅威から自由で無ければならぬ。
4. 伝統的な価値観の継承  
地域固有の伝統的な価値観を尊重し継承する。

多くの研究機関が複雑化した専門領域の研究活動

を行い、多くの政策提言をおこなってきました。その権威付けは政府によってなされました。

自由と経済の進展のためには、規制と強制を手技とする政府の介入は妨げとなります。自由経済研究所の立案する政策は、市民のネットワークの中で評価され実践されます。市民のネットワークの中で評価されるためにも、自由経済研究所は他の研究機関のみならずNGOとの連携を重視します。



韓国のシンクタンクCFEのKim代表と



韓国のシンクタンクCFEのKim代表と



ヘリテージ財団フェルナー会長と



CATO研究所のニスカネン会長と真剣に語り合う



ARBNetworkの仲間たちと

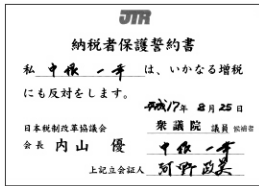
# サインナー紹介

## 納税者保護誓約書にサイン済みの議員一覧

署名済みの候補者はJTR日本税制改革協議会のホームページをご参照ください。

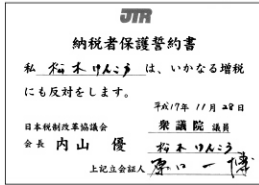
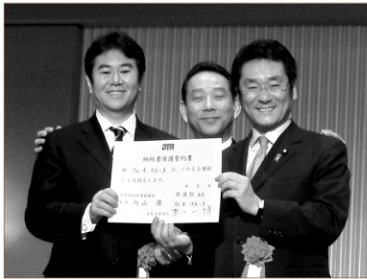
衆議院議員	松木 謙公 氏	民主党 比例・北海道(北海道12区)	参議院議員(第20回)	尾立 源幸 氏	民主党 大阪府
〃	武正 公一 氏	民主党 埼玉1区	〃	福島 みずほ 氏	社民党 比例
〃	金子 善次郎 氏	自由民主党 比例・北関東(埼玉1区)	都道府県知事	上田 清司 氏	埼玉県知事
〃	中根 一幸 氏	自由民主党 比例・北関東(埼玉6区)	都道府県議会議員	小林 哲也 氏	埼玉県議会議員(熊谷市)
〃	鷲尾 英一郎 氏	民主党 比例・北陸・信越(新潟2区)	〃	伊藤 悠 氏	東京都議会議員(目黒区)
〃	古川 元久 氏	民主党 愛知2区	〃	花輪 智史 氏	東京都議会議員(世田谷区)
〃	近藤 昭一 氏	民主党 愛知3区	〃	大西 智 氏	東京都議会議員(足立区)
〃	原口 一博 氏	民主党 比例・九州(佐賀1区)	〃	富田 昭雄 氏	愛知県議会議員(名古屋市名東区)
〃	川内 博史 氏	民主党 比例・九州(鹿児島1区)	区市町村議会議員	松本 武洋 氏	和光市議会議員(埼玉県)
参議院議員(第19回)	ツルネン・マルテイ 氏	民主党 比例	〃	佐藤 智一 氏	厚木市議会議員(神奈川県)
参議院議員(第20回)	福山 哲郎 氏	民主党 京都府			以上2006年5月31日現在

# NEW FACE



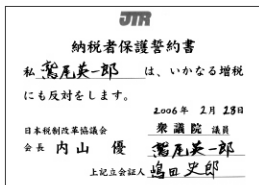
**中根 一幸氏** [2005.8.25 サイン]  
衆議院議員(自由民主党)

第44回衆議院議員選挙において自由民主党公認候補として署名し、当選されました。中根氏は「小さな政府と増税は相反する理念です。当選した後に私が党内で伝達します。」と確信を持って力強く支援者の前で署名されました。



**松木 謙公氏** [2005.11.28 サイン]  
衆議院議員(民主党)

札幌市内の京王プラザホテルで開催された政経フォーラムのイベントとして署名をされました。松木氏はJTRが開催している国会勉強会に参加され「私の哲学と何の違もない。私も署名する。」と決断されました。松木氏は支援者約1,000人の前で署名をしました。立会証人は原口一博衆議院議員が務めました。



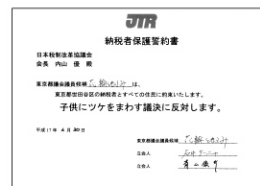
**鷲尾 英一郎氏** [2006.2.28 サイン]  
衆議院議員(民主党)

2006年2月28日に署名されました。鷲尾氏は若手20代の公認会計士です。「是非いろいろ教えてください。」という言葉が新鮮で印象的でした。署名の立会証人は鷲尾議員の友人、嶋田史郎氏です。



**伊藤 悠氏** 東京都議会議員(目黒区)  
[2005.6.26 サイン]

伊藤悠都議会議員・内山会長



**花輪 智史氏** 東京都議会議員(世田谷区)  
[2005.6.30 サイン]

左から青山俊介氏・花輪都議会議員・内山会長・石井ターニャ氏



**佐藤 智一氏** 厚木市議会議員(神奈川県厚木市)  
[2005.12.20 サイン]

左から後藤由紀子氏・佐藤知一議員・田中甲リーダーシップ研究所代表



**森本 和義氏** 衆議院議員候補者(民主党)  
[2006.3.3 サイン]

森本氏は愛知県から遠路、署名をするためにJTRの事務所までお出でくださいました。大柄がたっぷりした体格なのにとっても繊細な心配りをされる候補者です。署名の立会証人は本郷賢児氏です。

2005.12.8

## ニューヨークから RICH夫妻来訪

RICH氏は「米国民との契約」にも盛り込まれていた「議員の任期制限」の運動家です。ATRのノーキスト会長とも親しい関係にあります。心優しい「良きアメリカ人」です。草の根運動家にとって重要なレクチャーをしてくださいました。



2006.4.23

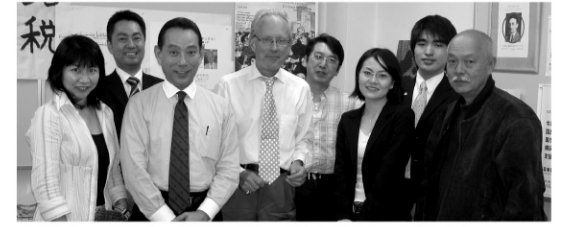
## リーダーシップ研究所 第1回講義の講師を 務めました。

しっかりとした哲学・信念をもった次世代のリーダー育成は時間のかかる仕事ですが必須です。



2005.5.16~23

## 世界納税者連盟会長 ビヨン・タラス・ワーバーグ氏来日。



水曜会に参加し、世界の税の動向を話してくださいました。



上田清司埼玉県知事を表敬訪問。県民のサイフを守る知事です。

# 水曜会と国会勉強会報告

国会勉強会は納税者保護誓約書署名議員のご協力の下に開催しています。

## 水曜会

毎週水曜日の10:00~11:30はJTR事務所で水曜会を開催しています。進行係はJTR日本税制改革協議会の内山会長が務めています。政府に**ほっといて欲しい**と思っている**自助の精神**に立脚したNPO・学者・研究者・政治家・中小企業経営者・学生などが参加し、現状の問題点と解決策を話し合っています。もちろん会員は参加無料(事前に事務局にお伝えください)です。

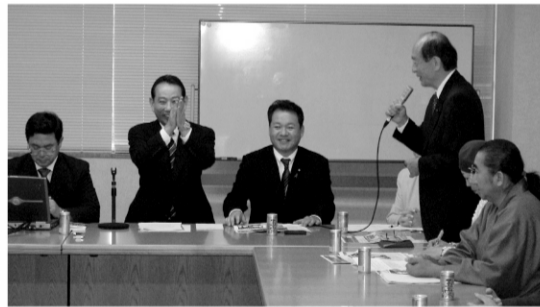
## 国会勉強会

毎月、最終水曜日の13:30~15:30(原則)は国会議員会館で国会勉強会を開催しています。もちろん会員は参加無料(事前に事務局にお伝えください)です。国会勉強会は知名度ではなく**ホンモノ**の講師をお願いしています。ホンモノとは?国会では議論しないところに本当のことが隠されています。各政党が呼ばない講師をお願いしています。JTR会員には**無料でデータを提供**しています。(事務局までご連絡ください)リーダーシップ研究所と自由経済研究所が共催しています。

2005.9.

### 服部 雄一氏

少子化の原因と対策



2005.12.

### 吉田 寛先生

官僚支配との決別

2006.1.

### ペマ・ギャルポ氏

私が見た日本外交



2006.3.

### 正木 晃氏

日本人とはなにか?



2005.10.

### 池田 武邦氏

都市の墓標

2006.4.

### 村田 俊男先生

ミーゼスの生涯と私



2005.11.

### ベンジャミン・フルフォード氏

泥棒国家日本



2006.2.

### 野口 理佐子氏

官僚支配との決別・第2弾



# 1年の歩み [拡大を続けるJTRのネットワーク]

2005.7.6~7

## C・W ニコル氏は 小さな政府が好き

C・W ニコル氏の「アフンの森財団」訪問。  
林野庁の国有林が隣接しています。どちらが良い森かは言うまでもありません。政府とNPOでの競争原理が必要です。



2005.7.15~8.2

## 米国訪問

Leadership Instituteで3つのコースを受講してきました。寮生活は辛いものでしたが実りは大きいものがありました。合間を縫ってATR全米税制改革協議会の水曜会参加・CATO研究所・ヘリテージ財団・アトラス財団・I.H.S・NTU全米納税者連盟等を訪問。現地からBLOG「今日の減税男」を書き続けていました。



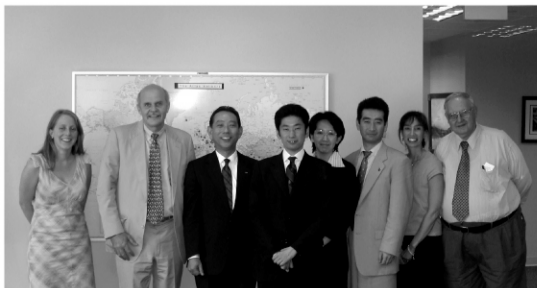
講義の風景



やる気を出して最前列に陣取りました



Leadership Instituteモートン・ブラックウェル会長とリーダーシップ研究所田中甲代表



ATLAS economic research Foundationを訪ねて

2005.9.11

## 第44回 衆議院議員総選挙 中根一幸氏(自民党公認候補)が 納税者保護誓約書にサイン

納税者保護誓約書への署名活動はたゆまぬ努力としつこさが必要です。



2005.9.29~10.2

## A.R.Bに参加 (タイ・プーケット)

アトラス財団とフリードリッヒ・ニューマン財団が主催したアジア・リソース・バンクに参加。アジア32ヶ国の自由主義・市場経済を研究するシンクタンクの研究者が参加しています。仲間がたくさんできました。情報鎖国の日本だけがヘンな国のようです。



Economic Freedom Network Asiaの会議風景



Constitution of Liberty 研究会



さよならパーティーの会場で仲間たちと

2005.10.17~21

## APTU創立総会 北京に参加

アジア太平洋納税者連盟創立総会が北京で開催されました。



JTRの哲学や活動内容をプレゼンテーション



懇親会ではAPTU事務局長の劉氏と固い握手



会場のホテル前で参加者の記念撮影

2005.11.15~18

## 韓国訪問

国際会議のARBとAPTUを通じて、お隣の国、韓国に友人ができました。今後の情報交換を約束。



シンクタンクのCenter for Free Enterprise



不当な徴税と戦うKorea Taxpayers Association